



きん張すると汗が出るのはなぜ

汗には三種類あります

きん張したときや、おどろいたときや、サスペンスやスリル満点の映画を見たときなど、思わず「手に汗をにぎる」というときの汗は、精神性発汗といわれるものです。

そのほかの汗には、暑い日や運動の後など、体温が上がったときに出てくる汗の、温熱性発汗と、からい物などを食べたときに出る汗の、味覚性発汗があります。

作業をしやすくする精神性発汗

精神性発汗では、手のひら、足の裏、わきの下に汗をかきます。手のひらに出る汗は、細かい手作業をするときに、物をつかむ作業をしやすくしますし、足の裏に出る汗は、木の上など、高い場所で作業をするとき、すべりにくくします。このように、精神性発汗には作業をしやすくするはたらきがあります。

精神性発汗を利用したものに、「うそ発見機」といわれている検査器があります。

精神的にどうようしたり、きん張して、汗が出るときの“電気ていこう”の変化を調べて、うそを発見するのです。（監修・保志 宏）

